

「男女共同参画に関するアンケート」結果

一人ひとりが輝くことができる「男女共同参画社会の実現」に向けた効果的な取組を進めるため、男女共同参画に関するアンケートを実施しました。

結果、697 名の方からご回答をいただきました。アンケートにご協力いただきました e-モニターの皆さんにはお礼を申し上げますとともに、その結果について下記のとおり取りまとめましたので、ご報告いたします。

(1) アンケート実施期間

平成 26 年 2 月 10 日（月）～平成 26 年 2 月 24 日（月）

(2) アンケート回収状況

対象者数 1,190 名
回答者数 697 名
回答率 58.6 %

(3) 回答者属性

・性別【男性】397 名、女性 300 名

・年代別

20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 代以上
61 人	131 人	180 人	161 人	130 人	34 人
8.8%	18.8%	25.8%	23.1%	18.7%	4.9%

・地域別

桑名・員弁地域	四日市地域	鈴鹿・亀山地域	津地域	松阪地域
92 人	160 人	97 人	118 人	79 人
13.2%	23.0%	13.9%	16.9%	11.3%

南勢志摩地域	伊賀地域	尾鷲地域	熊野地域
79 人	56 人	12 人	4 人
11.3%	8.0%	1.7%	0.6%

(4) アンケート結果

Q 1～Q 3 は、社会全体及び職場、地域における男女平等についての設問です。

「男性の方が非常に優遇されている」、「どちらかといえば男性の方が優遇されている」と答えた方の割合は、Q 1（社会全体）では 72.4%、Q 2（職場）では 64.4%、Q 2（地域）では 59.9%といずれも高くなっています。

Q 4は、固定的役割分担意識についての設問です。

「男は仕事、女は家庭」という考え方について「同感しない（＝「男は仕事、女は家庭」という考え方に反対）、「どちらかといえば同感しない」と答えた方の割合は55.6%と半数以上となっています。

Q 5～Q 7は、男女共同参画の推進についての設問です。

Q 5 10年前と比較して、男女共同参画の意識は向上したかについて「向上した」、「どちらかといえば向上した」と答えた方の割合が81.7%と高くなっています。

Q 6 10年前と比較して、男女共同参画が進んだと思う分野については「職場」（60.8%）、「家庭」（47.6%）、「学校」（30.0%）などの分野を選んだ方の割合が高くなっています。

Q 7 今後、男女共同参画を推進していくために必要なことについては「男性の意識改革」（50.6%）、「女性の家事・育児の負担軽減」（28.0%）、「男性の家事・育児への参画」（27.0%）を選んだ方の割合が高くなっています。

Q 8～Q 10は、女性の職業への関わり方についての設問です。

Q 8 女性の職業へのかかわり方（望ましい形）について「結婚や子育てなどで一時的にやめるが、子育ての時期が過ぎたら再び働く方がよい」と答えた方の割合が57.8%と高い数値を示しています。

Q 9 Q 8で「結婚や子育てなどで一時的にやめるが、子育ての時期が過ぎたら再び働く方がよい」と回答された方に対し、その理由をたずねたところ「子どもが幼いうちは育児に専念したいから（専念した方がよいから）」を選んだ方の割合が63.3%と最も高くなっています。

Q 10 概ね5年以内にご自身および身近な方が出産・子育てをきっかけとして退職された方に対し、出産・子育てをきっかけとして退職された理由をたずねたところ「子どもが幼いうちは育児に専念したかったから（専念してほしかったから）」（41.3%）、「職場における育休制度等の支援制度が不十分だったから」（19.7%）、「子どもの適当な預け先がなかったから」（13.1%）、を選んだ方の割合が高くなっています。

Q 11は、男性の育児、介護休業についての設問です。

「男性も育児休業・介護休業を取る方がよい」と答えた方の割合が73.7%と高くなっています。

Q 12～Q 14は、女性の登用についての設問です。

Q 12 女性の登用について「女性の登用を進める方がよい」と答えた方の割合が72.0%と高くなっています。

Q 13 Q 12で「女性の登用を進める方がよい」を選択した方に対し、女性の登用を進める上で重要なことについてたずねたところ「就業継続できる職場環境を整備する」と答えた方の割合が61.8%と最も高くなっています。

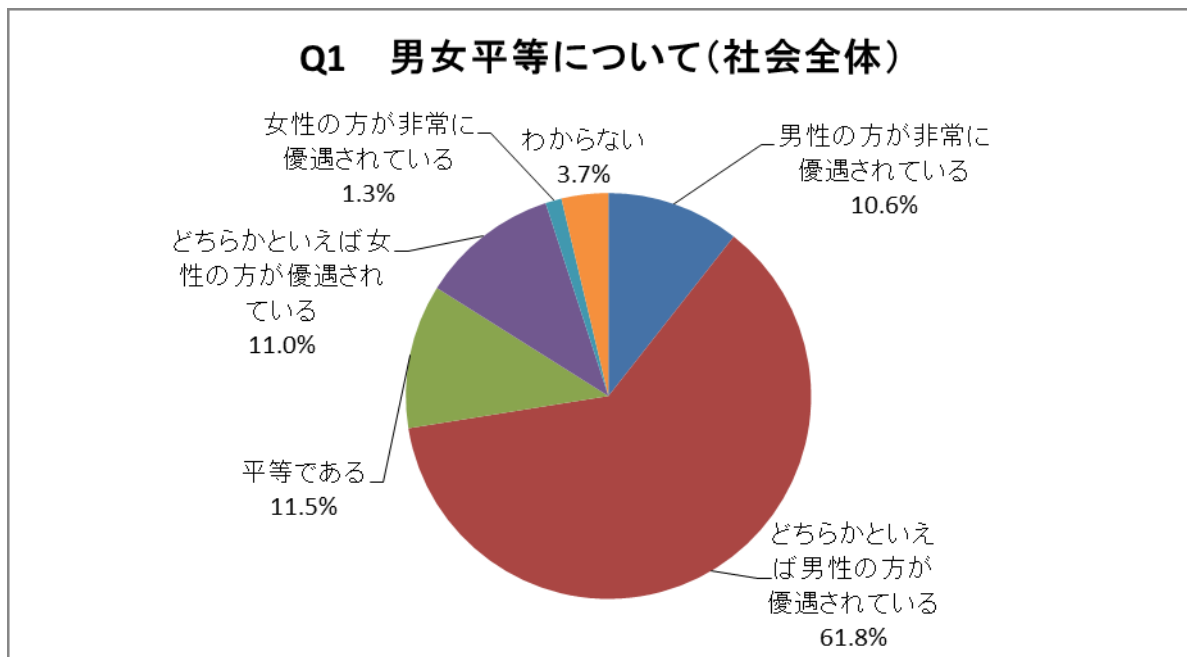
Q 14 政策や方針決定に関わる職業や役職において、今後女性がもっと増えた方がよいと思うものについて「国会議員、都道府県議会議員、市町村議会議員」（42.0%）、「企業、団体の管理職や役員」（33.3%）、「都道府県知事、市町村長」（21.1%）を選んだ方の割合が高くなっています。

Q 15は、家庭生活についての設問です。

夫婦間での家事分担の中で、男性が頻繁にやっている家事（男性はご自身が頻繁にやっている家事、女性は男性に頻繁にやってもらいたい家事）について「ゴミ出し」（62.3%）、「お風呂場の掃除」（53.8%）、「食事の片づけ」（53.1%）を選んだ方の割合が高くなっています。

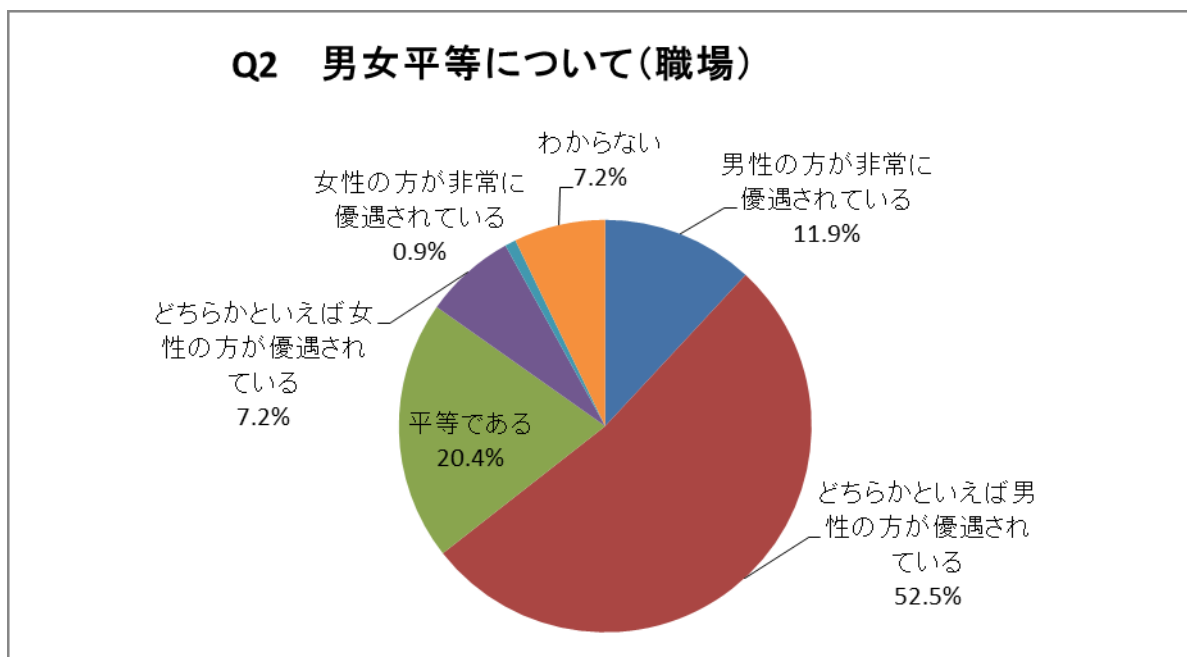
Q 1 男女平等について（社会全体）

あなたは、社会全体で、男女の地位が平等になっていると思いますか。



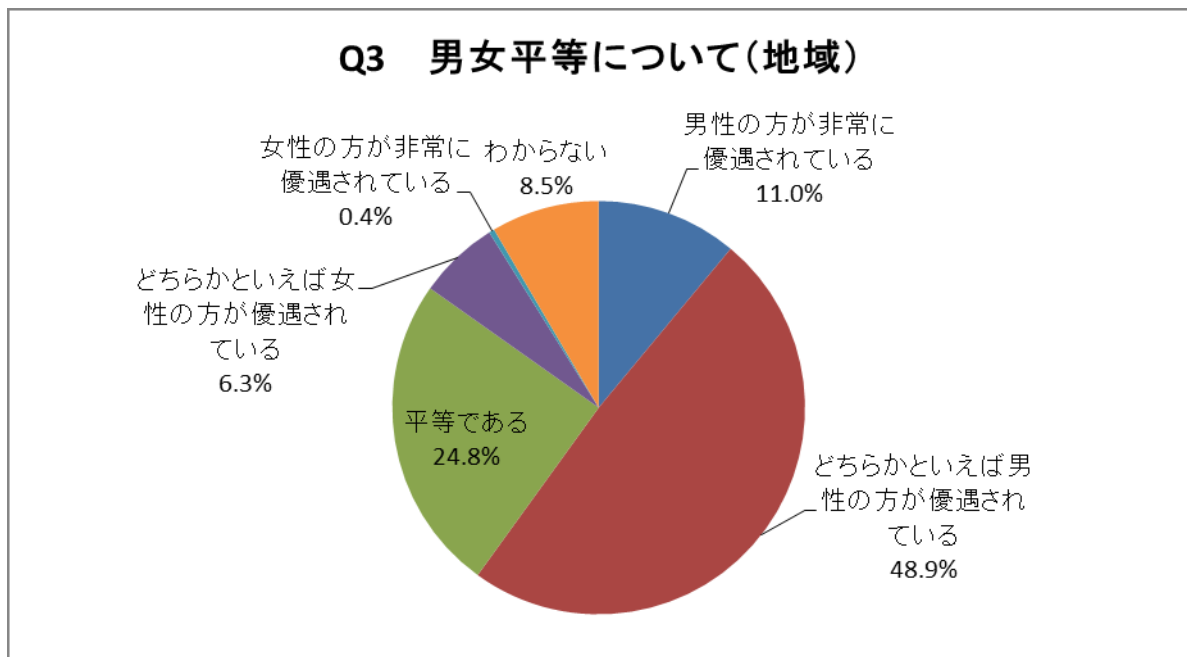
Q 2 男女平等について（職場）

あなたは、職場のなかで、男女の地位が平等になっていると思いますか。



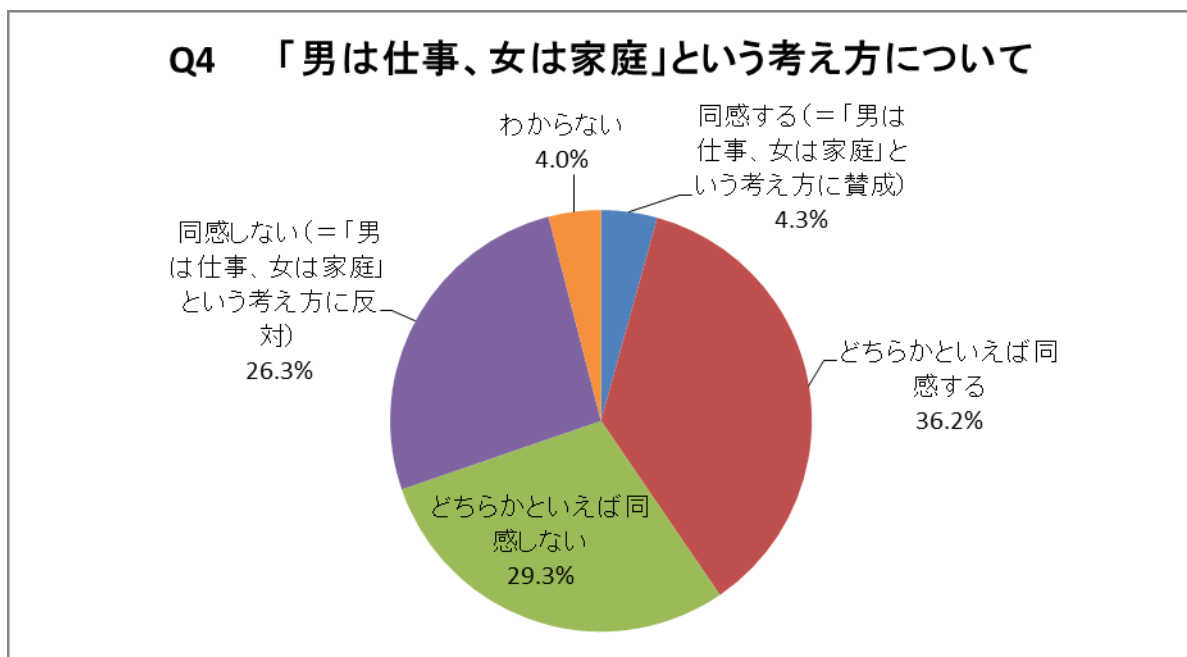
Q 3 男女平等について (地域)

あなたは、地域のなかで、男女の地位が平等になっていると思いますか。



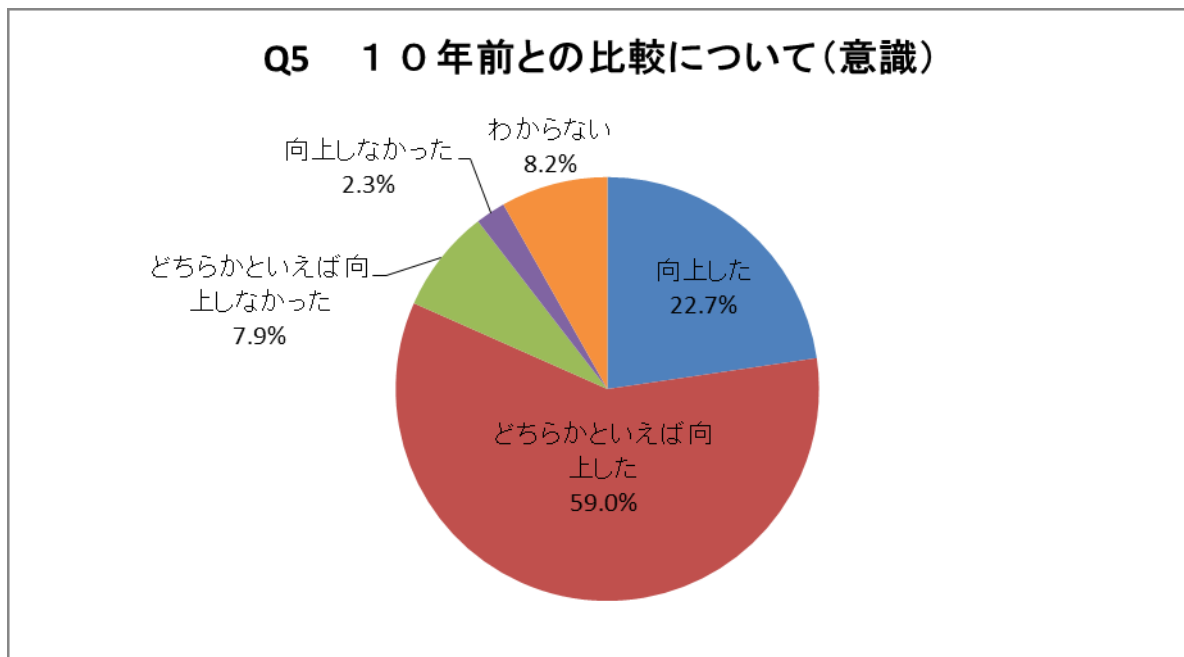
Q 4 「男は仕事、女は家庭」という考え方について

あなたは、「男は仕事、女は家庭」という考え方について、どう思いますか。



Q 5 10年前との比較について（意識）

10年前と比較して、男女共同参画の意識は向上したと思いますか。



Q 6 10年前との比較について（分野）

10年前と比較して、男女共同参画が進んだと思う分野を次の中から選んでください。（複数回答可）

Q6 10年前との比較について（分野）（必須）

分野	件数	割合
合計	1361 (697)	%
家庭	332	47.6%
職場	424	60.8%
地域	151	21.7%
学校	209	30.0%
政治（政策決定）の場	158	22.7%
その他	12	1.7%
特に進んだ分野はない	75	10.8%

Q 7 男女共同参画の推進について

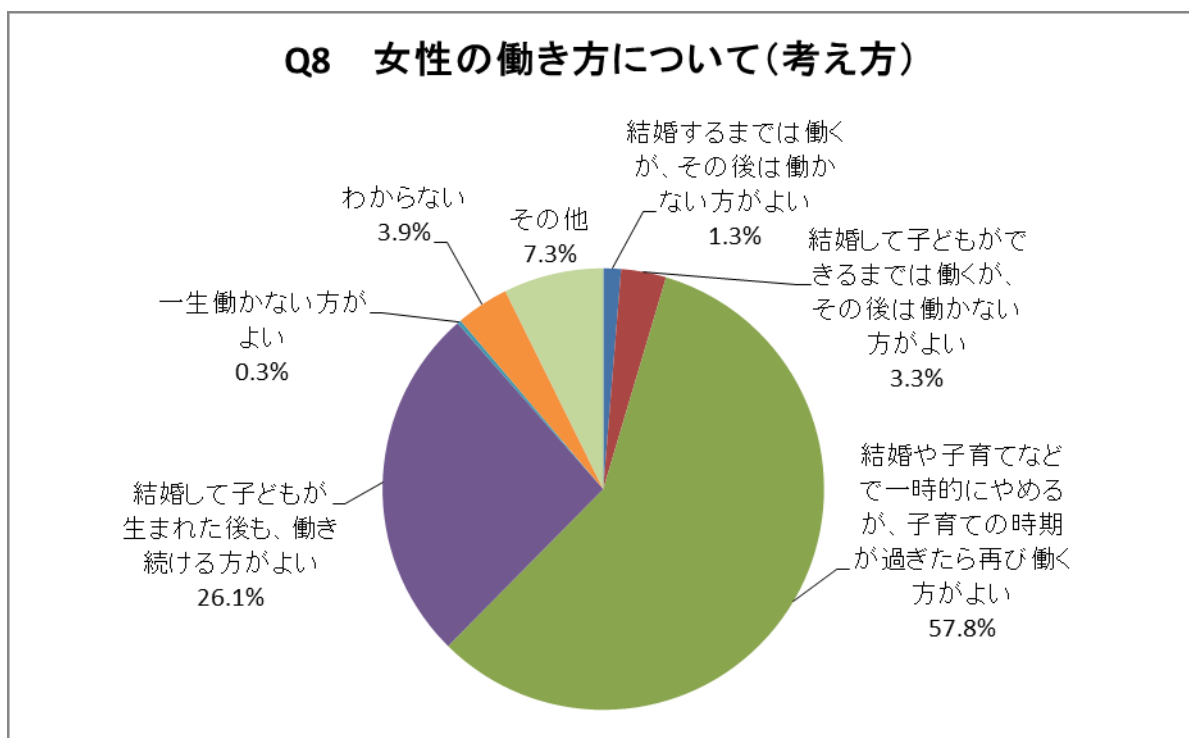
今後、男女共同参画を推進していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。

Q7 男女共同参画の推進について (必須)

項目	件数	割合 (%)
合計	1209 (697)	%
女性の意識改革	170	24.4%
男性の意識改革	353	50.6%
女性の家事・育児の負担軽減	195	28.0%
男性の家事・育児への参画	188	27.0%
長時間労働の是正	134	19.2%
女性が自らの能力を高める機会の提供	118	16.9%
女性の参画を進める必要はない	10	1.4%
その他	22	3.2%
わからない	19	2.7%

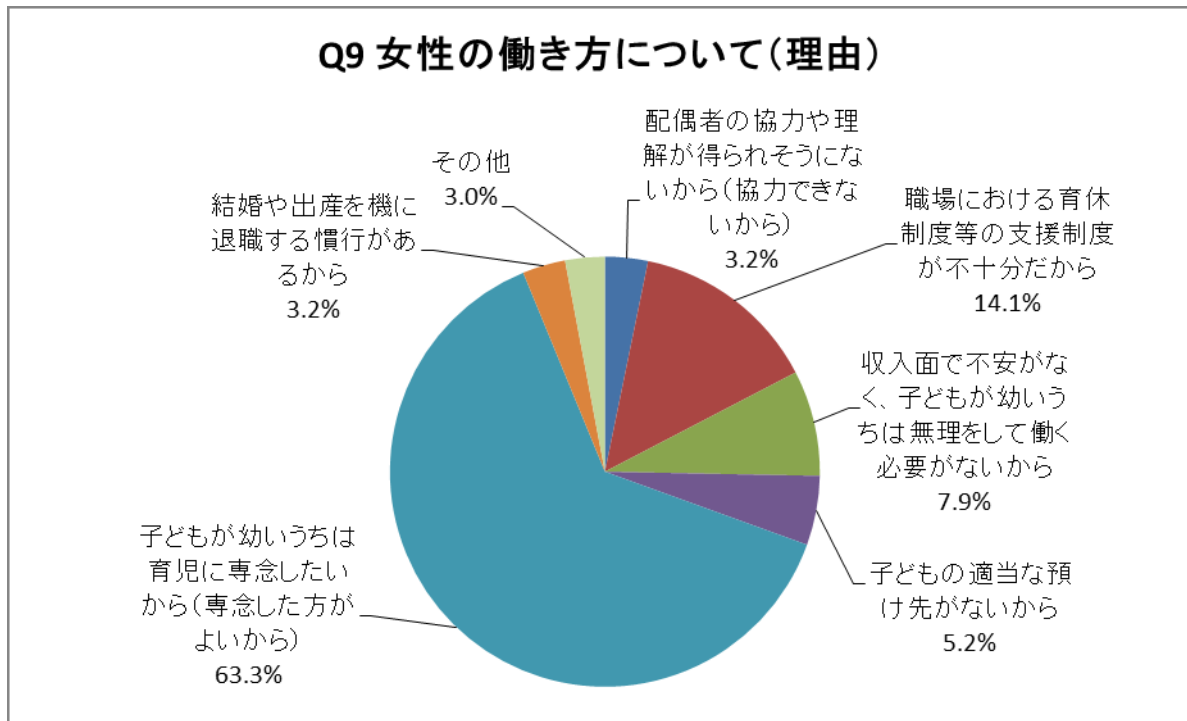
Q 8 女性の働き方について (考え方)

あなたは、女性が働くことについて、どのようにお考えですか。



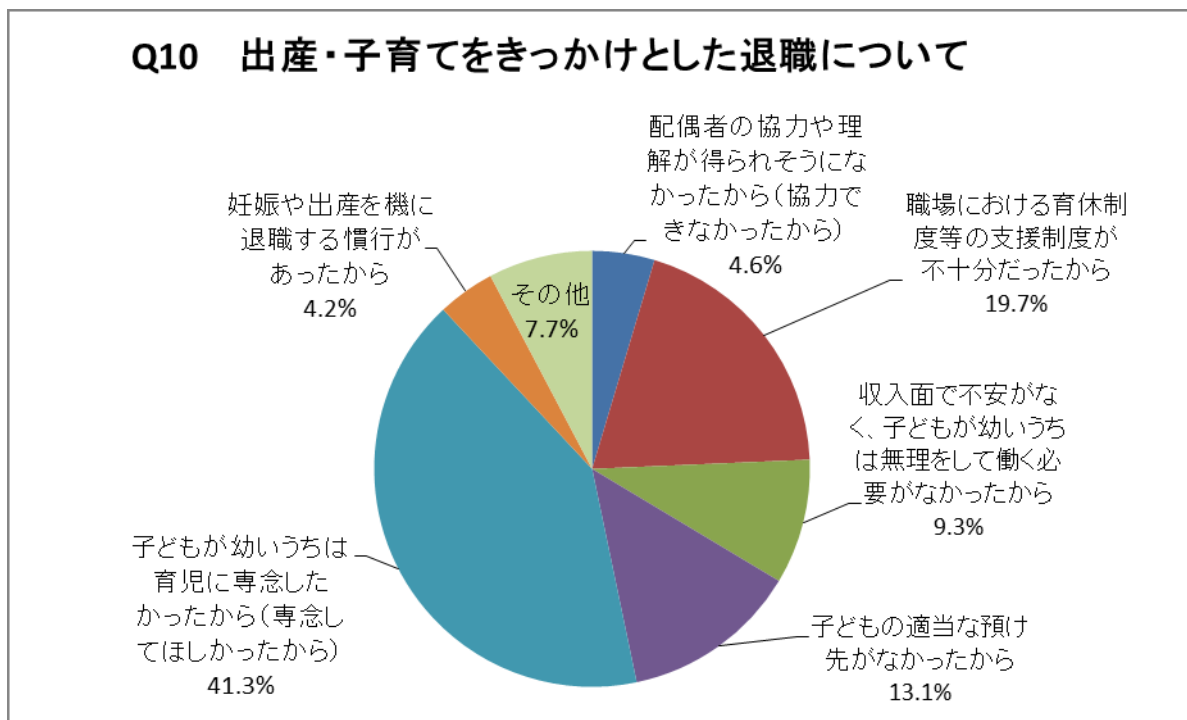
Q 9 女性の働き方について（理由）

Q 8で「結婚や子育てなどで一時的にやめるが、子育ての時期が過ぎたら再び働く方がよい」を選択された方におたずねします。なぜ、そのように考えますか。



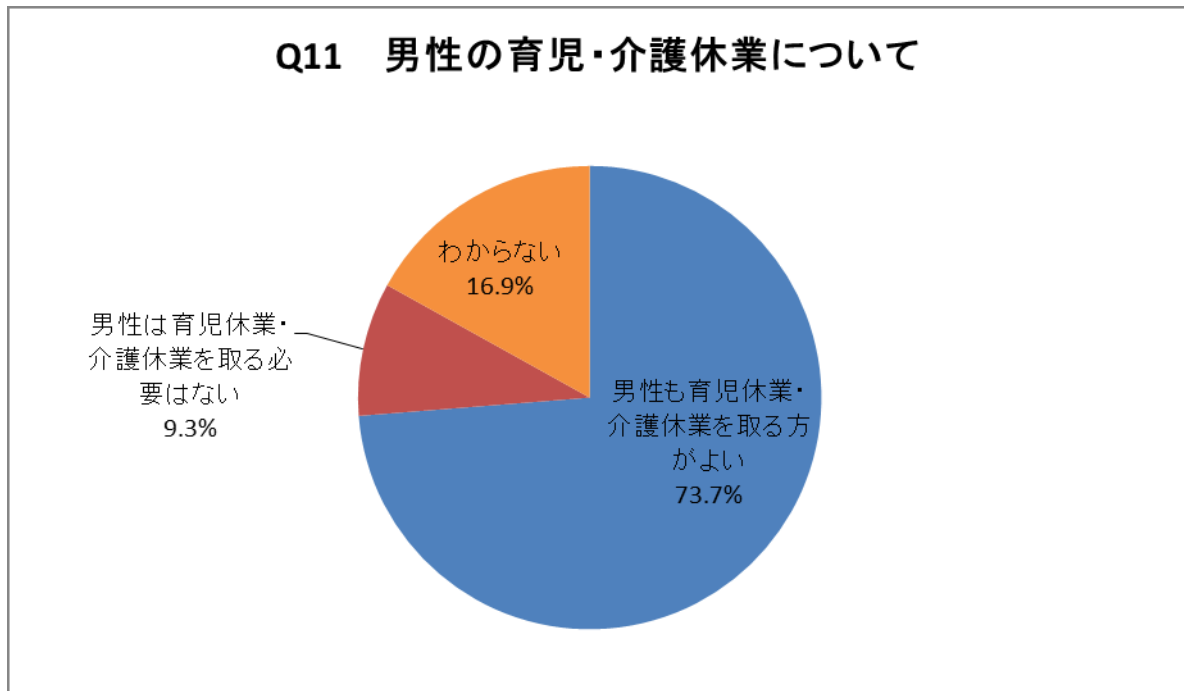
Q 10 出産・子育てをきっかけとした退職について

概ね5年以内にご自身および身近な方が出産・子育てをきっかけとして退職された方におたずねします。なぜ、出産・子育てをきっかけとして退職されたのですか。



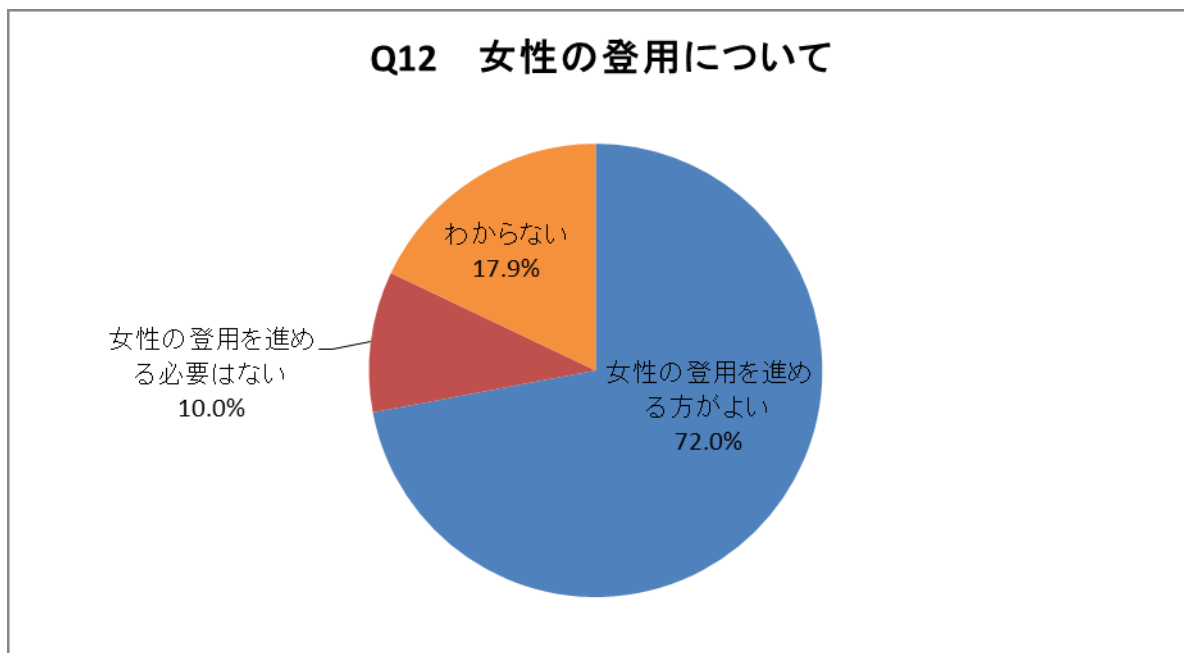
Q 1 1 男性の育児・介護休業について

あなたは、男性が育児休業や介護休業を取得することについてどう思いますか。



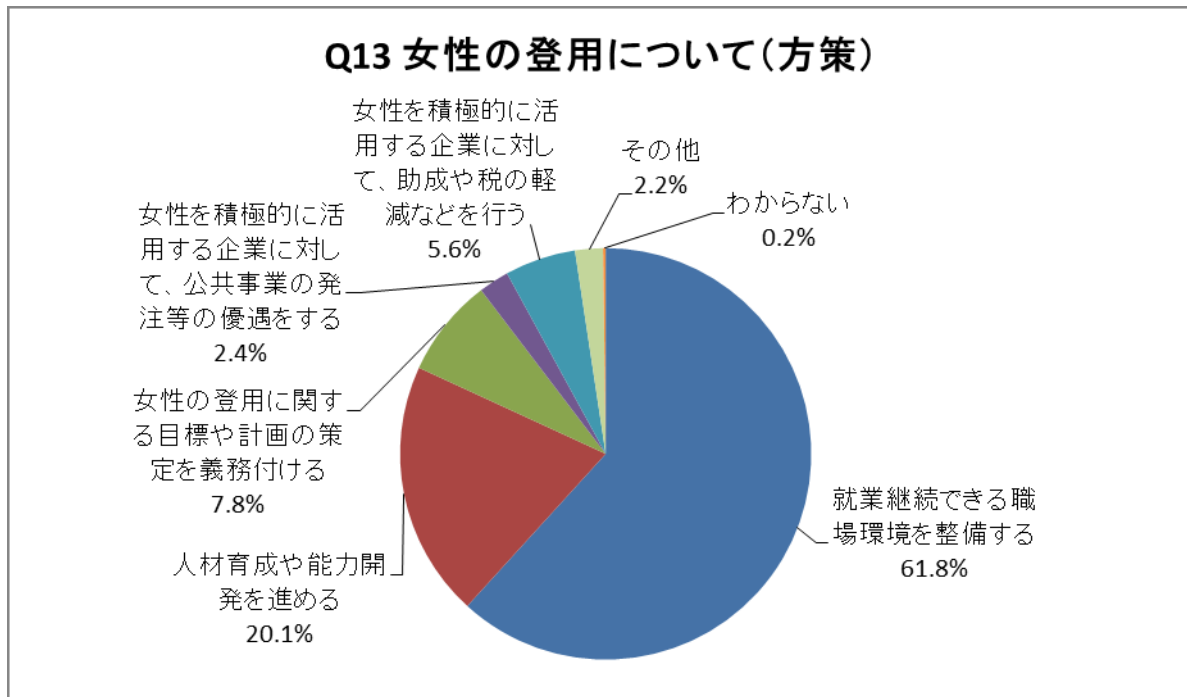
Q 1 2 女性の登用について

内閣府男女共同参画局では、男女共同参画社会の実現に向け「社会のあらゆる分野において、2020年までに指導的地位に女性が占める割合が少なくとも30%程度になるよう期待する」としていますが、一般的にどこの職場でもまだまだ女性の管理職の比率が低い状況にあります。あなたは、女性の登用についてどう思いますか。



Q13 女性の登用について（方策）

Q12で「女性の登用を進める方がよい」を選択した方におたずねします。女性の登用を進める上で重要なことは何だと思えますか。



Q14 女性の登用について（職業・役職）

次にあげるような政策や方針決定に関わる職業や役職において、今後女性がもっと増えた方がよいと思うものはどれですか。

Q14 女性の登用について（職業・役職）（必須）		
合計	1146 (697)	%
国会議員、都道府県議会議員、市町村議会議員	293	42.0%
都道府県知事、市町村長	147	21.1%
裁判官、検察官、弁護士	70	10.0%
企業、団体の管理職や役員	232	33.3%
国家公務員、地方公務員の管理職	121	17.4%
学校の校長、教頭	70	10.0%
自治会長、町内会長等の地域役員	114	16.4%
政策・方針決定に関わる職業や役職において女性は増えなくてよい	21	3.0%
その他	22	3.2%
わからない	56	8.0%

Q15 夫婦間での家事分担について

夫婦間での家事分担の中で、男性が頻繁にやっている家事は何ですか。男性はご自身が頻繁にやっている家事を、女性は男性に頻繁にやってもらいたい家事を次の中から選んでください。(複数回答可) なお、未婚の方は配偶者がいる場合を想定して回答してください。

Q15 夫婦間での家事分担について (必須)		
合計	2452 (697)	%
食事のしたく	185	26.5%
食事の片づけ	370	53.1%
部屋の掃除	317	45.5%
トイレ掃除	165	23.7%
お風呂場の掃除	375	53.8%
買い物	234	33.6%
家計管理	87	12.5%
ゴミ出し	434	62.3%
洗濯	151	21.7%
アイロンがけ	54	7.7%
家庭内の仕事はしていない、またはしなくてよい	32	4.6%
その他	37	5.3%
わからない	11	1.6%